

霊長類学入門Ⅰ(2)

脳神経科学(宮地重弘)

サルを対象にした研究で得られた知見を中心に、ヒトを含む霊長類の脳の構造や機能について概説する。

6/19 ニューロンと脳

6/26 脳の中の地図

7/3 運動制御の神経機構

7/10 行動と認知

7/17 予備日

7/24 試験日

7/31 フィードバック日

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

全講義終了後に、小論文形式の筆記試験を行います。担当教員3名がそれぞれ事前に課題を出し、そのうちのひとつを選んで試験当日に解答してもらいます。解答の下書きや資料類の持ち込みは認めません。

評価は筆記試験の結果にもとづいて行います。出席は毎回取ります。出席点は評価には加えませんが、3分の1を超えて欠席した場合は不合格とします。

[教科書]

京都大学霊長類研究所(編)『新・霊長類学のすすめ』(丸善)ISBN:978-4621085332

[参考書等]

(参考書)

京都大学霊長類研究所(編)『新しい霊長類学(ブルーバックス 1651)』(講談社)ISBN:978-4062576512

中川尚史ほか(編)『日本のサル学のあした』(京都通信社)ISBN:978-4903473529

泰羅雅登・中村克樹(監訳)『カールソン神経科学テキスト』(丸善出版)ISBN:978-4-621-08670-4

(関連URL)

<https://www.ehub-kyoto-u.com/>

<https://www.ecology.kyoto-u.ac.jp/~hanya/>

[授業外学修(予習・復習)等]

講義ごとに講義のポイントを整理しておき、講師が紹介する本や映像について自主学習することを推奨する。より包括的な理解のために、後期開講の「霊長類学入門Ⅱ」を合わせて受講することを推奨する。

[その他(オフィスアワー等)]

質問などは、講師に直接尋ねるか、メールで問い合わせてください。講師のメールアドレスは、講義の際に知らせます。

[主要授業科目(学部・学科名)]

理学部